

# 愛知医科大学 2012 年度入学試験 解答速報 数学

平成 24 年 1 月 24 日 実施

I  $\lim_{x \rightarrow -1} \frac{f(x)}{x+1} = 15$  において  $x \rightarrow -1$  のとき 分母  $\rightarrow 0$  であるから 分子  $\rightarrow 0$  が必要である。従って  $f(-1) = 0$  であり、 $f(x)$  は  $x+1$  で割り切れる。同様に考えて  $f(x)$  は  $x-2$  で割り切れる。

そこで  $f(x) = (x+1)(x-2)g(x)$  とおくと、 $\lim_{x \rightarrow -1} \frac{f(x)}{x+1} = \lim_{x \rightarrow -1} \frac{(x+1)(x-2)g(x)}{x+1} = -3g(-1) = 15$ 、  
 $\therefore g(-1) = -5$ 、 $\lim_{x \rightarrow 2} \frac{f(x)}{x-2} = \lim_{x \rightarrow 2} \frac{(x+1)(x-2)g(x)}{x-2} = 3g(2) = 3$ 、 $\therefore g(2) = 1$ 。  
 これを満たす最小次数の多項式は  $g(x) = 2x - 3$  であり、 $f(x) = (x+1)(x-2)(2x-3)$  である。

## II

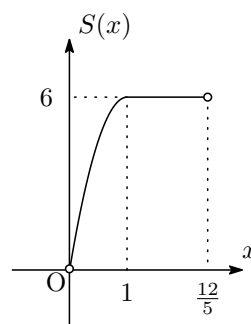
(1)  $t = 2^{\log_5 x}$  より  $t^2 = 4^{\log_5 x}$  となる。したがって  $x^{\log_5 4} = t^2$

(2)  $f(x) = 2t \cdot t^2 + 5 \cdot t^2 - 8t - 3 \cdot t + 4 = 2t^3 + 5t^2 - 11t + 4 = (t-1)(2t-1)(t+4)$  と変形できるので  
 $f(x) = 0 \iff t = 1, \frac{1}{2} (\because t > 0)$ 。従って、 $x = 1, \frac{1}{5}$

## III

各頂点と対辺との距離の最小値は  $\frac{12}{5}$  なので与条件から  $0 < x < \frac{12}{5}$  である。  
 $0 < x < 1$  のときは  $\bar{P} \cap \bar{Q} \cap \bar{R}$  である部分が  $\triangle ABC$  の内部に存在し  $\triangle ABC$  と相似な三角形となる。図形的な考察によりこの三角形の面積は  $\frac{1}{2}(4-4x)(3-3x) = 6(1-x)^2$ 、  
 また  $\triangle ABC = \frac{1}{2} \cdot 3 \cdot 4 = 6$  なので  $S(x) = 6 - 6(1-x)^2 = -6x^2 + 12x$ 。また  
 $1 \leq x < \frac{12}{5}$  のときは  $\bar{P} \cap \bar{Q} \cap \bar{R}$  である部分は存在せず  $S(x) = \triangle ABC = 6$  となる。

る。以上から  $S(x) = \begin{cases} -6x^2 + 12x & (0 < x < 1) \\ 6 & (1 \leq x < \frac{12}{5}) \end{cases}$  でありグラフは右図。



## IV

i)  $n = 2m + 1$  ( $m = 1, 2, \dots$ ) のとき、2つの異なる自然数のうち小さいを  $k$ 、大きい方を  $\ell$  とすると、  
 $k = 1, 2, \dots, m$  で、このとき、 $\ell = k + 1, k + 2, \dots, 2m + 1 - k$  とわかる。よって、

$$\sum_{k=1}^m (2m + 1 - k - k) = (2m + 1)m - m(m + 1) = m^2 = \frac{(n - 1)^2}{4}$$

ii)  $n = 2m$  ( $m = 1, 2, \dots$ ) のとき、i) と同様に考えて、 $k = 1, 2, \dots, m - 1$  で、このとき、 $\ell = k + 1, k + 2, \dots, 2m - k$  とわかる。よって、

$$\sum_{k=1}^{m-1} (2m - k - k) = 2m(m - 1) - (m - 1)m = m(m - 1) = \frac{n(n - 2)}{4}$$

**V**  $\triangle ABC$  を  $z = k$  ( $0 \leq k \leq 3$ ) で切った図形 (線分) を考える.  
 線分  $AB$ ,  $BC$ ,  $AC$  と  $z = k$  の交点を  $P, Q, R$  とする. また,  $(0, 0, k)$  を  $Z_k$  とおくことにする.

(I)  $0 \leq k \leq 2$  のとき

図形は  $P\left(1 + \frac{k}{2}, 1 - \frac{k}{2}, k\right)$ ,  $Q\left(1 - \frac{k}{3}, 1 - \frac{k}{3}, k\right)$  を結ぶ線分となる. したがってこの線分を  $z$  軸を中心に回転させると, 半径  $Z_kP$  の円盤から半径  $Z_kQ$  の円盤をくりぬいた形となる.

(II)  $2 \leq k \leq 3$  のとき

図形は  $R(6 - 2k, 0, k)$ ,  $Q\left(1 - \frac{k}{3}, 1 - \frac{k}{3}, k\right)$  を結ぶ線分となる. したがってこの線分を  $z$  軸を中心に回転させると, 半径  $Z_kR$  の円盤から半径  $Z_kQ$  の円盤をくりぬいた形となる.

以上により求める体積  $V$  は

$$\begin{aligned} V &= \int_0^2 \pi \overline{Z_kP}^2 dk + \int_2^3 \pi \overline{Z_kR}^2 dk - \int_0^3 \pi \overline{Z_kQ}^2 dk \\ &= \pi \int_0^2 \left(2 + \frac{k^2}{2}\right) dk + \pi \int_2^3 (6 - 2k)^2 dk - \pi \int_0^3 2 \left(1 - \frac{k}{3}\right)^2 dk \\ &= \frac{14}{3} \pi \end{aligned}$$